

「ここへ来たたら大家族」 雰囲気良く他地域からの参加もあるほど

長船町磯上地区



和気あいあいと、ビーズづくりに精出す皆さんです

介護予防拠点施設として磯上ふれあいプラザがオープンしたのは3年前。以来、月2回の休館日を除き、フル稼働。午前10時から午後5時まで大勢の皆さんが出入りしています。面積の広い磯上地区。拠点施設ができ、地区内の隔たりがなくなつたといえます。健康づくりふれあい事業では、血圧測定や健康体操の後、毎月誕生会が開かれ誕生月の人をお祝いしています。サークル活動も活発で、お茶の会、カラオケ、インターネット教室、生け花を楽しむ会、詩吟、囲碁の会など、さまざまな活動に大勢の皆さんが参加しています。「ここへ来たたら大家族」。みんな仲が良く、生き生きと活動をしています。「体の調子が少々すぐれなくても、ここに来たら治るような気がする。みんなワイワイ言いながらの作品作りは、何物にも代え難い」。そんな言葉さえ飛び出さずらい、ここでの活動は皆さんの心のよりどころにもなっています。

ここでは、できる人がボランティアで講師を務めています。あるときは講師と



屋外でグランドゴルフを楽しむ皆さん

して教えたり、あるときは受講生として教えられたり。「みんなここへ来るのを楽しみにしていて、楽しんでできることを教えとるだけ」と言う安木孝子さん（81歳）は、人望厚く、複数の講師を務めています。

外では、ゲートボールやグラウンドゴルフを楽しむ皆さんのほつらつとした姿が見られます。ここに集い、同じ時間を共有することで絆も深まり、地域コミュニティもますます充実しているといえます。

磯上地区外からの参加も

あるほど雰囲気良く、「温かく受け入れてもらい、毎日でもここに来たいと思う」という言葉が聞かれるほどです。

藍染めの指導で訪れた講師の松本道子さん（53歳・邑久町本庄）は、「みんな仲が良く意欲的。元気が出る地域ですね」と話しました。安木孝子さん（65歳）は、「ふれあいの場としてここを活用し、皆さんが喜んで足を運んでくれるからうれしい。これからは、今までの活動も充実させながら、子育て支援の場にもしていきたい。お母さん同士のふれあいの場となるようバックアップしていきたい。そのための協力は惜しみません」と意欲的です。

岡村三重子さん（60歳）も、「これからも、新しいものをどんどん取り入れていきたいですね」と積極的内容もますます充実し、ふれあいの高まりが期待できる磯上地区です。

特別職報酬等を改定

これまでの経緯

昨年11月、瀬戸内市は発足しましたが、邑久郡合併協議会での協議で、市議会議員の定数は在任特別（7カ月間）が適用されることになりました。在任特別期間中の市議会議員の報酬額は、現行報酬額をもとに調整され、旧邑久町の報酬額とすることになりました。

市長、助役、教育長の給料月額、邑久郡合併協議会での協議で現行の額と同規模の自治体の例をもとに調整することになりましたが、当面は市議会議員と同様に旧邑久町の給料月額に合わせました。

本年5月末で市議会議員の在任特別期間が満了になったことに伴い、定数も44人から24人に減員となりました。このたび、新たな議員が決まったことを受け、特別職報酬等審議会に対し、適正な報酬額について諮問、慎重な審議が行われ同審議会から市長に答申されました。その答申の内容を市執行部が慎重に検討した結果、今回6月定例市議会で議案として上程、議決されました。

市議会議員の政務調査費

市議会議員の政務調査費は、議員の調査研究を行うのに必要な経費の一部として交付するので、本年7月から月額3万円を交付します。

●報酬月額

	市議会議長	市議会副議長	市議会議員
改定後(H17・7～)	450,000円	380,000円	350,000円
改定前	320,000円	257,000円	233,000円

●特別職等の給料月額

	市長	助役	教育長
改定後(H17・7～)	880,000円	720,000円	640,000円
改定前	800,000円	635,000円	575,000円

●合併前(旧3町の合計)と改定後の比較

議員・市長・助役・教育長分を合わせると、合併前(旧3町の合計)と今回の改定後の金額を比べると、年間72,341,000円の減額となります。

<内訳>

市議会議員関係 △25,878,000円
市長・助役・教育長関係 △46,463,000円

6月定例市議会

